

特集II 子どもの明日 応援プロジェクト

<対談> **NPO法人 日本渚の美術協会**
 ～企業とNPOの強みを生かして～



明治安田生命は、お客さまの“家族への思い”を支えることを、生命保険会社らしい社会貢献であると考え、子どもたちの明るい未来づくりにつながる活動に取り組んできました。
 取組みの柱の一つに位置づけている『環境意識の醸成』をテーマにした活動では、海岸清掃を通じて収集した漂着物を材料に、アート作品を制作する「海の世界工作教室」を実施しています。パートナーであるNPO日本渚の美術協会の本間さんと、「海の世界工作教室」の推進担当者である広報部の岡部が、活動について、そして企業とNPOの協働についてお話ししました。



岡部 久美子

明治安田生命保険相互会社
 広報部 広報推進グループ
 社会貢献活動・CSR推進担当



本間 清さん

特定非営利活動法人
 日本渚の美術協会
 会長

楽しみながら、環境への気づきが生まれる活動



岡部 私たちはもともと、家族で楽しく参加でき、子どもたちの自然への思いを育むことをねらいとして「海の世界工作教室」を始めました。開催するたびに子どもたちの真剣なまなざしや笑顔を見ることができ、手ごたえを感じています。

本間 そうですね。「ボランティアで海岸を清掃しましょう」とか「海岸のゴミについて考えましょう」と呼びかけると身構えてしまう人も、なんだか楽しそうだと、思っただけで参加してくれるのがこの活動の特長だと思います。

岡部 その通りですね。2007年当時、私たちは、社員のボランティア活動を全国的に広げていこうとしていました。どうすれば実現するだろうかと考えていたとき、日本渚の美術協会さんと出会ったのは幸運でした。従業員が家族を連れて参加でき、子どもたちに対して、楽しみながら環境への気づきを提供できるので、とても好評です。

本間 参加する子どもたちは、最初をよくわからずに不安げですが、海岸清掃で次第に楽しそうになり、収集した漂着物を用いたアート作品をつくる段階では、すっかり主人公になっていますよね。子どもたちが主導権を握って大人を引っ張っている様子は、見ていて楽しくなります。

家庭で、学校で、話題になることで広がる

岡部 家庭内では、日頃なかなか子どもたちと環境について話し合う機会がないですね。家族と一緒に体験し、考えて、あとあと自然と話題にのぼるのもこの活動の魅力です。

本間 参加されたみなさんの多くは、帰り道や帰宅後に、家族でその日のことについて会話をしますね。おっしゃるように、普段は家族で環境のことを話す時間はなかなか持てないものです。「海の環境工作教室」の体験を、子どもたちが、学校でも話題にしてくれることがあるようですから頼もしいです。



岡部 2010年から数えると、参加者は1,885人になります。その人たちの口から、さらにどんどん環境の大切さが伝播していくことを願っています。また、アート作品も間もなく1,000個になります。想像力豊かでインパクトがあるため、年に1回開催する展示会では、来場者が作品に見入っています。そうした機会を通して、ふと足をとめて自然環境のことに思いをはせる時間を提供できたらと思います。

自然を大切にする気持ちは、思いやりにつながる



本間 「海の環境工作教室」の終わりにはいつも、「ゴミを捨てない仲間になってくれるかな？」と子どもたちに尋ねるのですが、元気よく「はい！」と言ってくれるので本当に嬉しくなります。人間の出すゴミによって、海鳥やウミガメなどの海洋生物が命を脅かされる例なども紹介したうえで、海岸清掃やアート作品の制作を行ないますから、子どもたちのところに響くのですね。

岡部 子どもの頃に体験を通して得る学びは、貴重なものだと思います。

本間 はい、ですから、大人たちにゴミを捨てさせないようにするより、捨てない子どもを育てるほうが効果的ではないでしょうか。大人も、子どもに注意されると逆らえないですしね(笑)。

岡部 生物や自然を大切にする気持ちは、他者への思いやりを持つことにもつながるのだと思うのです。その意味でも、この活動をご一緒できて、本当に良かったと思っています。

本間 そうですね。実際に、生物や自然のためという以外にも、海岸がきれいになったら、地域に住む人たちにも喜ばれるだろうと想像しながら清掃している参加者も少なくないようです。子どもたちも、誰かの役に立つ喜びを感じてくれたら素晴らしいですね。

パートナーシップが、シナジーを生み出す

岡部 前述しましたように、明治安田生命が、全社的に社員のボランティア活動を推進していこうとしているとき、日本渚の美術協会さんとの出会いがありました。これまで継続し、広げていけたのは、この活動の中には、環境や地域のためになるのと同時に、家族で楽しみながら参加して、自分たち自身の学びになる要素が込められていたからだと思います。企業として、こうしたノウハウをお持ちのNPOと協働する、最も大きなメリットの一つだと考えています。



本間 そうであれば私たちも嬉しいです。私たちにとっては、全国にたくさんの拠点を持つ明治安田生命さんとの協働が、活動の範囲を広げる大きな力になりました。NPOは、専門分野におけるノウハウの面で長けていても、組織力や資金力ではまだまだ力不足です。互いの強みを生かし合えるようなパートナーシップによって、活動をより実りあるものにしていければと思います。

岡部 そうですね。両者で持てるものを出し合って、シナジーを生み出していけるよう、これからもよろしくお願いします。